

3-5 学校教育施設（小学校、中学校、専門学校、その他（学校教育））

- ・小（中）学校は、学校教育法で「市町村はその区域内にある学齢児童（生徒）を就学させるに必要な小（中）学校を設置しなければならない。」と定められ、小学校は、心身の発達に応じて、初等普通教育を施すことを目的とし、中学校は、小学校における教育の基礎の上に、心身の発達に応じて、中等普通教育を施すことを目的として設置しています。
- ・地域社会に暮らす人々の健康と福祉に貢献できる看護師を育成することを目的に、ソフィア看護専門学校を設置しています。
- ・三谷小学校・塩津小学校・西浦小学校を除く小学校には、放課後に児童を預かる児童クラブが校内に設置されています。令和2年度から新たに蒲郡西部小学校の校内にも児童クラブが設置されました。
- ・市内の小中学校は構造体の耐震化は全て完了しており、災害時の拠点となることが期待されます。

図 3-39 配置状況・外観写真（学校教育施設）



蒲郡南部小学校



大塚中学校



ソフィア看護専門学校

3-5-1 小学校

(1) 老朽化状況の把握

- ・どの小学校も昭和 20 年代から 40 年代にかけて整備されています。
- ・中でも塩津小学校と竹島小学校は老朽化度が 3 以上となっており、全体的に老朽化が進んでいる状況です。

図 3-40 老朽化状況（小学校）

施設名称	延床面積 (㎡)	建築年度	老朽化度	老朽化度	
				健全 1.0 2.0	老朽化 3.0 4.0 5.0
蒲郡南部小学校	6,952	S24	2.5		
蒲郡東部小学校	5,231	S41	2.4		
蒲郡北部小学校	4,854	S27	2.7		
蒲郡西部小学校	3,756	S27	2.6		
三谷小学校	6,147	S32	2.7		
塩津小学校	7,278	S35	3.1		
大塚小学校	5,405	S31	2.8		
形原小学校	6,261	S42	2.9		
西浦小学校	6,242	S28	3.0		
形原北小学校	6,447	S41	2.7		
中央小学校	6,409	S41	2.6		
三谷東小学校	6,765	S32	2.8		
竹島小学校	6,055	S48	3.0		

※校内には複数の建物が建っていますが、建築年度は最も建築年度の古い建物（倉庫等を含む）をもとに掲載しています。蒲郡南部小学校は昭和 33（1958）年度、蒲郡東部小学校は昭和 46（1971）年度、中央小学校は昭和 43（1973）年度が、倉庫等を除く主な建物（校舎や体育館等）で最も古い建物の建築年度となります。

(2) 利用状況の把握

- ・この6か年では、三谷小学校、形原北小学校、中央小学校、三谷東小学校で児童の減少傾向がみられます。
- ・蒲郡西部小学校は、他の小学校に比べて児童1人あたり面積が広がっています。一方で、形原北小学校は児童1人あたり面積が狭くなっています。

図 3-41 利用状況（小学校）

施設名称	延床面積 (㎡)	児童数（人）						
		H26	H27	H28	H29	H30	R1	6年平均
蒲郡南部小学校	6,952	317	322	322	322	332	342	326
蒲郡東部小学校	5,231	289	288	296	294	284	297	291
蒲郡北部小学校	4,854	314	310	315	319	323	304	314
蒲郡西部小学校	3,756	72	77	70	70	67	71	71
三谷小学校	6,147	253	247	235	212	215	215	230
塩津小学校	7,278	528	552	535	527	527	512	530
大塚小学校	5,405	293	287	276	296	297	288	290
形原小学校	6,261	366	355	347	331	353	355	351
西浦小学校	6,242	218	226	235	245	245	241	235
形原北小学校	6,447	586	585	559	536	520	495	547
中央小学校	6,409	328	321	316	310	304	283	310
三谷東小学校	6,765	328	330	322	321	303	300	317
竹島小学校	6,055	320	330	339	338	329	335	332

施設名称	児童1人 あたり面積 (㎡/人)	児童1人あたり面積 (㎡/人)					
		0.0	15.0	30.0	45.0	60.0	75.0
蒲郡南部小学校	21.3						
蒲郡東部小学校	18.0						
蒲郡北部小学校	15.5						
蒲郡西部小学校	52.8						
三谷小学校	26.8						
塩津小学校	13.7						
大塚小学校	18.7						
形原小学校	17.8						
西浦小学校	26.6						
形原北小学校	11.6						
中央小学校	20.7						
三谷東小学校	21.3						
竹島小学校	18.2						

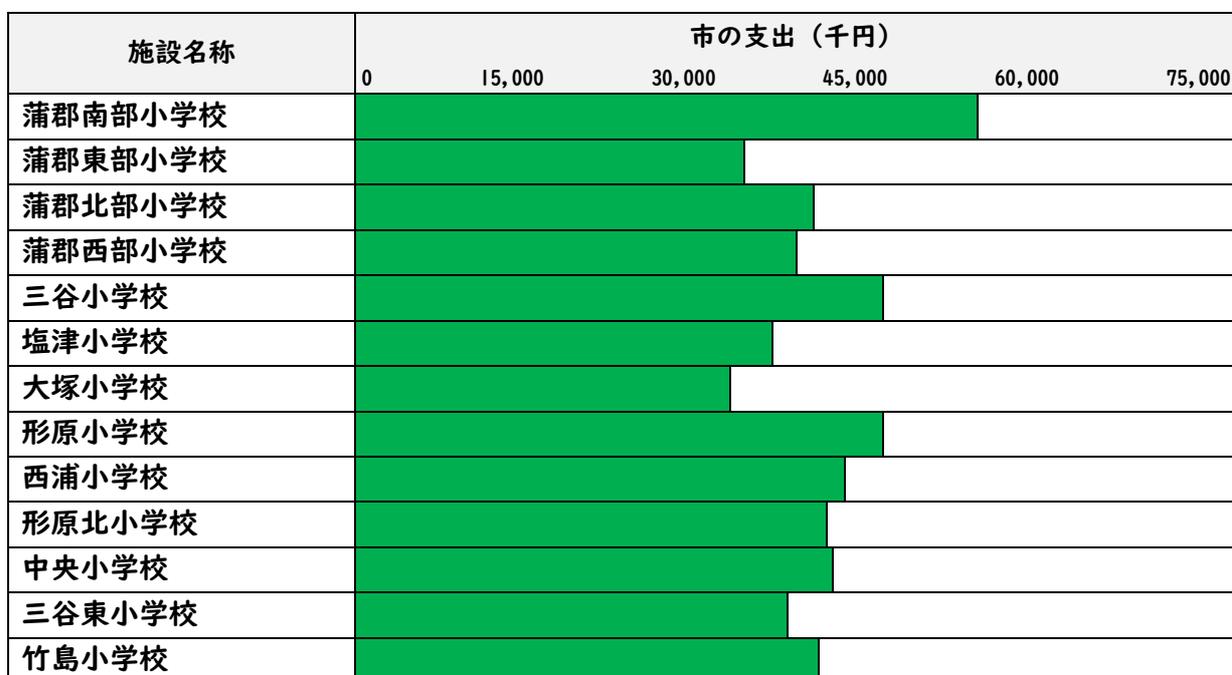
※利用状況の値は6か年度（平成26（2014）～令和元（2019）年度）の平均値を掲載しています。

(3) コスト状況の把握

- ・蒲郡南部小学校のコストが、他の小学校と比較すると高くなっていますが、他の学校については大きな差はなく、児童数によるコストの大きな違いは見られません。

図 3-42 コスト状況（小学校）

施設名称	市の支出（千円）				
	施設に係るコスト	事業運営に係るコスト	人に係るコスト	指定管理料	合計
蒲郡南部小学校	43,448	8,909	2,700	0	55,057
蒲郡東部小学校	24,464	8,701	2,700	0	35,865
蒲郡北部小学校	30,361	8,540	3,333	0	42,234
蒲郡西部小学校	30,059	7,692	2,700	0	40,451
三谷小学校	36,581	8,096	2,700	0	47,377
塩津小学校	25,576	10,165	2,700	0	38,440
大塚小学校	22,916	8,901	2,700	0	34,517
形原小学校	35,053	9,274	2,700	0	47,028
西浦小学校	33,815	8,165	2,700	0	44,679
形原北小学校	31,220	9,566	2,700	0	43,486
中央小学校	32,468	8,596	2,700	0	43,764
三谷東小学校	25,057	8,613	5,867	0	39,536
竹島小学校	31,013	8,961	2,700	0	42,674



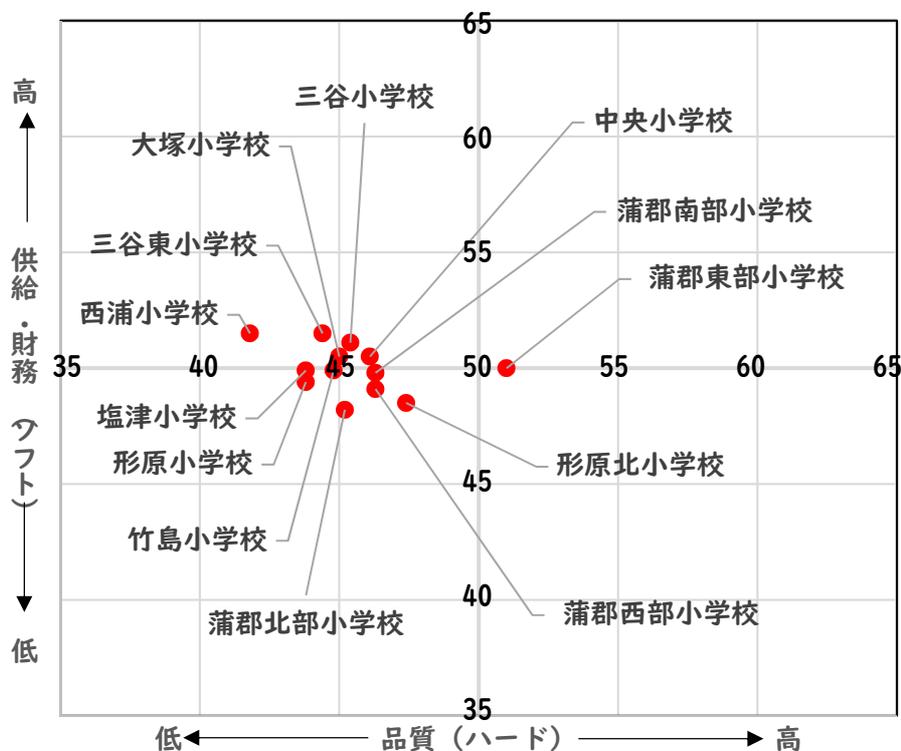
※支出額の値は6カ年度（平成26（2014）～令和元（2019）年度）の平均値を掲載しています。

(4) ポートフォリオ分析結果

- ・蒲郡東部小学校を除く小学校は、建物の品質の平均偏差値が50を下回っており、本市の公共施設の中でも老朽化が進んでいる状況です。
- ・改修工事の実施に伴い、平成26年度と比較すると、建物の品質の平均偏差値が向上している施設が多くなっています。

図 3-43 ポートフォリオ分析結果（小学校）

施設名称	延床面積 (㎡)	品質				品質 (ハード) 平均偏差値	供給		財務		供給・財務 (ソフト) 平均偏差値
		平均築年数	偏差値	老朽化度	偏差値		児童1人 あたり面積 (㎡/人)	偏差値	児童1人 あたり 市負担額 (円/人)	偏差値	
蒲郡南部小学校	6,952	51.1	38.4	2.5	54.2	46.3 (+0.8)	21.3	49.5	166,802	50.1	49.8 (-1.6)
蒲郡東部小学校	5,231	40.4	46.4	2.4	55.6	51.0 (+0.9)	18.0	46.1	122,266	53.8	50.0 (-1.7)
蒲郡北部小学校	4,854	50.3	39.0	2.7	51.5	45.3 (+1.0)	15.5	43.6	134,940	52.8	48.2 (+0.3)
蒲郡西部小学校	3,756	49.3	39.7	2.6	52.9	46.3 (-1.0)	52.8	81.4	566,839	16.8	49.1 (-2.5)
三谷小学校	6,147	49.8	39.4	2.7	51.5	45.4 (+4.0)	26.8	55.1	201,816	47.2	51.1 (-1.6)
塩津小学校	7,278	46.8	41.6	3.1	46.1	43.9 (-1.6)	13.7	41.9	72,695	57.9	49.9 (-0.8)
大塚小学校	5,405	49.2	39.8	2.8	50.2	45.0 (-1.3)	18.7	46.9	119,378	54.1	50.5 (+0.5)
形原小学校	6,261	50.6	38.8	2.9	48.8	43.8 (+2.8)	17.8	46.0	133,352	52.9	49.4 (-2.4)
西浦小学校	6,242	54.0	36.2	3.0	47.5	41.8 (+1.6)	26.6	54.8	189,601	48.2	51.5 (+4.8)
形原北小学校	6,447	44.4	43.4	2.7	51.5	47.5 (+1.8)	11.8	39.9	81,692	57.2	48.5 (+3.6)
中央小学校	6,409	49.7	39.4	2.6	52.9	46.2 (+2.7)	20.7	48.9	143,124	52.1	50.5 (+3.0)
三谷東小学校	6,765	50.8	38.6	2.8	50.2	44.4 (+1.7)	21.3	49.5	125,577	53.5	51.5 (+0.1)
竹島小学校	6,055	46.2	42.1	3.0	47.5	44.8 (-1.1)	18.2	46.4	127,963	53.3	49.9 (-1.8)



※品質（ハード）の偏差値は、臨時・不使用施設及び企業会計施設を除く全施設を対象として算出しています。

※供給・財務（ソフト）の偏差値は、本項に掲載している施設のみを対象として算出しています。

※品質（ハード）及び供給・財務（ソフト）の偏差値のカッコ内の数値は、前白書における偏差値からの動きを示しています。

3-5-2 中学校

(1) 老朽化状況の把握

- ・どの中学校も昭和30年代から50年代にかけて整備されています。
- ・中でも三谷中学校、大塚中学校、西浦中学校は老朽化度が3以上となっており、老朽化が進んでいます。

図 3-44 老朽化状況（中学校）

施設名称	延床面積 (㎡)	建築年度	老朽化度	老朽化度				
				健全	←	2.0	3.0	→
蒲郡中学校	9,383	S35	2.9					
三谷中学校	8,032	S47	3.2					
塩津中学校	7,010	S37	2.6					
大塚中学校	7,443	S32	3.0					
形原中学校	8,716	S40	2.7					
西浦中学校	7,004	S37	3.2					
中部中学校	7,640	S52	2.9					

※校内には複数の建物が建っていますが、建築年度は最も建築年度の古い建物（倉庫等を含む）をもとに掲載しています。形原中学校は昭和44（1969）年度が、倉庫等を除く主な建物（校舎や体育館等）で最も古い建物の建築年度となります。

(2) 利用状況の把握

- ・この6か年では、大塚中学校、形原中学校、西浦中学校で特に生徒の減少傾向がみられます。
- ・大塚中学校と西浦中学校の生徒1人あたり面積が広がっています。一方で、蒲郡中学校と形原中学校は、生徒1人あたり面積が狭くなっています。

図 3-45 利用状況（中学校）

施設名称	延床面積 (㎡)	生徒数（人）						
		H26	H27	H28	H29	H30	R1	6年平均
蒲郡中学校	9,383	499	465	477	482	517	492	489
三谷中学校	8,032	309	300	294	291	294	303	299
塩津中学校	7,010	285	247	253	260	257	268	262
大塚中学校	7,443	184	181	170	151	147	137	162
形原中学校	8,716	514	508	500	491	474	450	490
西浦中学校	7,004	135	115	105	95	101	99	108
中部中学校	7,640	341	366	333	337	334	370	347

施設名称	生徒1人 あたり面積 (㎡/人)	生徒1人あたり面積 (㎡/人)					
		0.0	15.0	30.0	45.0	60.0	75.0
蒲郡中学校	19.2						
三谷中学校	26.9						
塩津中学校	26.8						
大塚中学校	46.0						
形原中学校	17.8						
西浦中学校	64.7						
中部中学校	22.0						

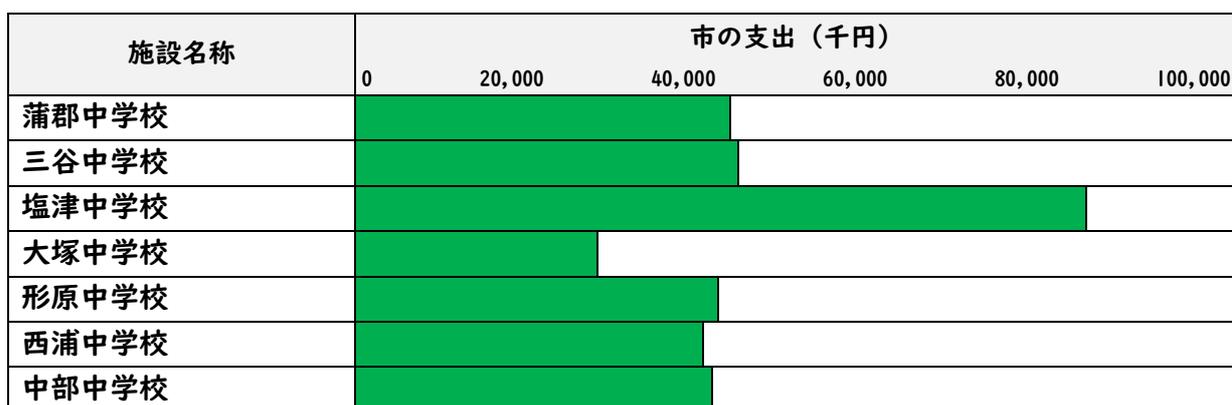
※利用状況の値は6か年度（平成26（2014）～令和元（2019）年度）の平均値を掲載しています。

(3) コスト状況の把握

・体育館の大規模改修工事を実施した塩津中学校の施設に関するコストが他の中学校と比較すると高くなっていますが、生徒数によるコストの大きな違いは見られません。

図 3-46 コスト状況（中学校）

施設名称	市の支出（千円）				
	施設に係るコスト	事業運営に係るコスト	人に係るコスト	指定管理料	合計
蒲郡中学校	28,977	11,137	6,500	0	46,614
三谷中学校	35,825	9,112	2,700	0	47,637
塩津中学校	74,697	8,883	2,700	0	86,280
大塚中学校	18,178	8,031	3,967	0	30,175
形原中学校	30,552	10,166	2,700	0	43,418
西浦中学校	30,349	8,487	2,700	0	41,536
中部中学校	30,792	9,241	2,700	0	42,733



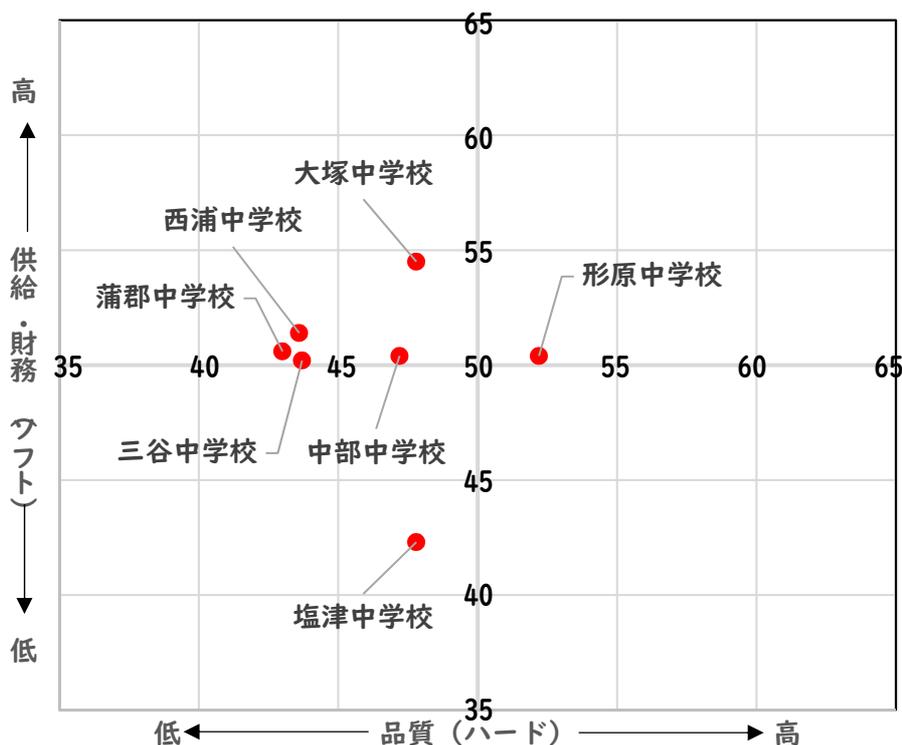
※支出額の値は6ヵ年度（平成26（2014）～令和元（2019）年度）の平均値を掲載しています。

(4) ポートフォリオ分析結果

- ・形原中学校を除く中学校は、建物の品質の平均偏差値が 50 を下回っており、本市の公共施設の中でも老朽化が進んでいる状況です。
- ・平成 26 年度と比較しても、塩津中学校を除き建物の品質の平均偏差値が低下しています。

図 3-47 ポートフォリオ分析結果（中学校）

施設名称	延床面積 (㎡)	品質				品質 (ハード) 平均偏差値	供給		財務		供給・財務 (ソフト) 平均偏差値
		平均築年数	偏差値	老朽化度	偏差値		生徒1人 あたり面積 (㎡/人)	偏差値	生徒1人 あたり 市負担額 (円/人)	偏差値	
蒲郡中学校	9,383	52.5	37.3	2.9	48.8	43.1 (-2.7)	19.2	42.0	95,757	59.3	50.6 (-0.9)
三谷中学校	8,032	45.5	42.6	3.2	44.8	43.7 (-2.0)	26.9	46.9	158,929	53.6	50.2 (+1.6)
塩津中学校	7,010	45.3	42.7	2.6	52.9	47.8 (+5.2)	26.8	46.8	333,365	37.9	42.3 (-3.6)
大塚中学校	7,443	38.1	48.1	3.0	47.5	47.8 (-2.9)	46.0	58.9	196,128	50.2	54.5 (+4.0)
形原中学校	8,716	31.8	52.8	2.7	51.5	52.2 (-2.8)	17.8	41.2	91,429	59.7	50.4 (-2.9)
西浦中学校	7,004	45.8	42.4	3.2	44.8	43.6 (-6.7)	64.7	70.5	394,860	32.3	51.4 (-1.9)
中部中学校	7,640	41.5	45.6	2.9	48.8	47.2 (-3.3)	22.0	43.8	120,357	57.0	50.4 (+3.5)



※品質（ハード）の偏差値は、臨時・不使用施設及び企業会計施設を除く全施設を対象として算出しています。

※供給・財務（ソフト）の偏差値は、本項に掲載している施設のみを対象として算出しています。

※品質（ハード）及び供給・財務（ソフト）の偏差値のカッコ内の数値は、前白書における偏差値からの動きを示しています。

3-5-3 専門学校

(1) 老朽化状況の把握

・ソフィア看護専門学校は建築年数が20年程度であり、一部に老朽化がみられる状態です。

図 3-48 老朽化状況（専門学校）

施設名称	延床面積 (㎡)	建築年度	老朽化度	老朽化度				
				健全	←	→	老朽化	
				1.0	2.0	3.0	4.0	5.0
ソフィア看護専門学校	4,418	H10	2.3					

※複数の建物で構成されている施設の建築年度は、最も建築年度の古い建物をもとに掲載しています。

(2) 利用状況の把握

・ソフィア看護専門学校は毎年一定人数の学生数を確保しており、安定した利用状況となっています。

図 3-49 利用状況（専門学校）

施設名称	延床面積 (㎡)	学生数 (人)						
		H26	H27	H28	H29	H30	R1	6年平均
ソフィア看護専門学校	4,418	116	110	117	109	109	113	112

施設名称	学生1人 あたり面積 (㎡/人)	学生1人あたり面積 (㎡/人)					
		0.0	10.0	20.0	30.0	40.0	50.0
ソフィア看護専門学校	39.3						

※利用状況の値は6ヵ年度（平成26（2014）～令和元（2019）年度）の平均値を掲載しています。

(3) コスト状況の把握

・支出項目別に見ると、人に係るコストの割合が大きくなっています。

図 3-50 コスト状況（専門学校）

施設名称	市の支出 (千円)				
	施設に係るコスト	事業運営に係るコスト	人に係るコスト	指定管理料	合計
ソフィア看護専門学校	14,985	15,085	104,533	0	134,602

施設名称	市の支出 (千円)					
	0	30,000	60,000	90,000	120,000	150,000
ソフィア看護専門学校						

※支出額の値は6ヵ年度（平成26（2014）～令和元（2019）年度）の平均値を掲載しています。

3-5-4 その他（学校教育）

(1) 老朽化状況の把握

・学校給食センターは建築年数が15年程度であり、比較的健全な状態を維持しています。

図 3-51 老朽化状況（その他（学校教育））

施設名称	延床面積 (㎡)	建築年度	老朽化度	老朽化度				
				健全	←	→	老朽化	
				1.0	2.0	3.0	4.0	5.0
学校給食センター	3,692	H16	1.9					

※複数の建物で構成されている施設の建築年度は、最も建築年度の古い建物をもとに掲載しています。

(2) 利用状況の把握

・学校給食センターは、稼働日1日あたり約6,000食を配食しています。
 ・小中学校の児童・生徒数の減少に伴い、配食数は減少する傾向にあります。

図 3-52 利用状況（その他（学校教育））

施設名称	延床面積 (㎡)	配食数（食）						
		H26	H27	H28	H29	H30	R1	6年平均
学校給食センター	3,692	1,506,470	1,463,133	1,453,224	1,460,106	1,451,028	1,328,842	1,443,801

施設名称	稼働日1日 あたり配食数 (食/日)	稼働日1日あたり配食数 (食/日)				
		0	2,000	4,000	6,000	8,000
学校給食センター	5,924.1					

※利用状況の値は6カ年度（平成26（2014）～令和元（2019）年度）の平均値を掲載しています。

※令和元（2019）年度は、新型コロナウイルス感染症の影響に伴う休校期間があります。

(3) コスト状況の把握

・支出項目別に見ると、事業運営に係るコストの割合が大きくなっています。

図 3-53 コスト状況（その他（学校教育））

施設名称	市の支出（千円）				
	施設に係るコスト	事業運営に係るコスト	人に係るコスト	指定管理料	合計
学校給食センター	96,252	538,370	35,000	0	669,622

施設名称	市の支出（千円）				
	0	150,000	300,000	450,000	600,000
学校給食センター					

※支出額の値は6カ年度（平成26（2014）～令和元（2019）年度）の平均値を掲載しています。

【参考：類似自治体との小中学校の整備状況比較】

- ・第2章「2-6-4 類似自治体との公共施設整備状況比較」で比較対象とした、滋賀県守山市、茨城県牛久市、愛知県知多市、奈良県大和郡山市と市立小中学校の整備状況を比較します。
- ・本市は類似4自治体よりも小中学校数が多くなっています。また、児童・生徒数の違いを考慮し、児童・生徒1人あたりの学校延床面積を比較しても、本市は他の自治体より小中学校が多い状況であることがわかります。

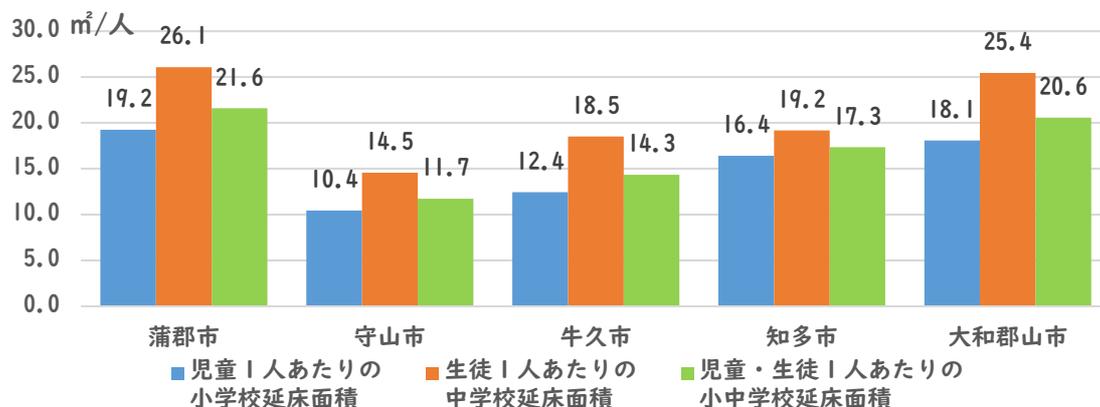
図 3-54 類似4自治体との小中学校の整備状況比較

	蒲郡市	滋賀県 守山市	茨城県 牛久市	愛知県 知多市	奈良県 大和郡山市
小学校数(校)	13	9	8	10	11
小学校児童数(人)	4,038	5,854	4,799	4,796	4,046
小学校延面積(m ²)	77,695	61,070	59,666	78,653	73,159
中学校数(校)	7	4	5	5	5
中学校生徒数(人)	2,119	2,668	2,171	2,472	2,060
中学校延床面積(m ²)	55,229	38,816	40,169	47,409	52,393

※類似自治体についての詳細は17ページをご覧ください。

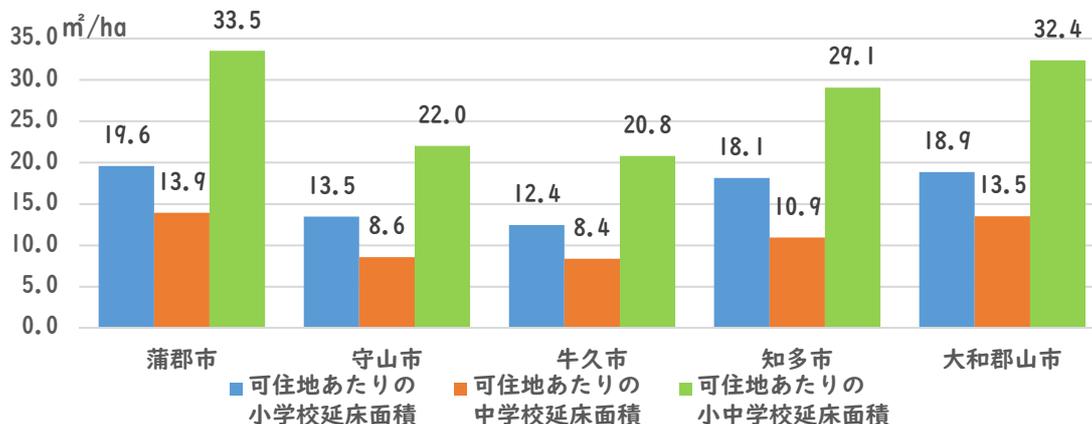
出所：公共施設状況調、学校基本調査、各自治体ホームページ

図 3-55 児童・生徒1人あたりの延床面積
(小学校、中学校、小中学校)



出所：公共施設状況調、学校基本調査、各自治体ホームページ

図 3-56 可住地あたりの学校延床面積
(小学校、中学校、小中学校)



出所：公共施設状況調、統計でみる市町村のすがた